



大阪支部定期総会 講演資料

# 「全通研とわたし」

2026年4月29日(水・祝) 11:10-12:30

大阪市立中央会館 ホール

一般社団法人 全国手話通訳問題研究会  
会長 渡辺正夫



# 大阪支部

- 支部結成日は？ 全国で何番目？
- 1975（昭和44）年12月 日 2番目 山口・大阪・京都
- 過去最高の会員数は？
- 858人 2025年度は、676人
- 研究誌の表紙は？
- 第71号 稲 豊 さん
- 第105号 花山 教子 さん
- 第152号 高田 昌代 さん
- 夏集会は？
- 6回 1973年5月2日・3日 261人 全国手話通訳者会議
- 13回 1980年8月23日～25日 1,970人
- 25回 1992年8月21日～23日 2,500人
- 冬集会は？
- 1回 1985年2月10日・11日 490人
- 17回 2001年2月10日・11日 1,196人
- 30回 2014年2月14日・15日 1,263人
- 全国手話研修センター後援会 会員は？ 2026年3月31日現在
- きこえない人 171人 きこえる人 142人 その他 1人  
314人（750人） 41.9%



# 大阪支部

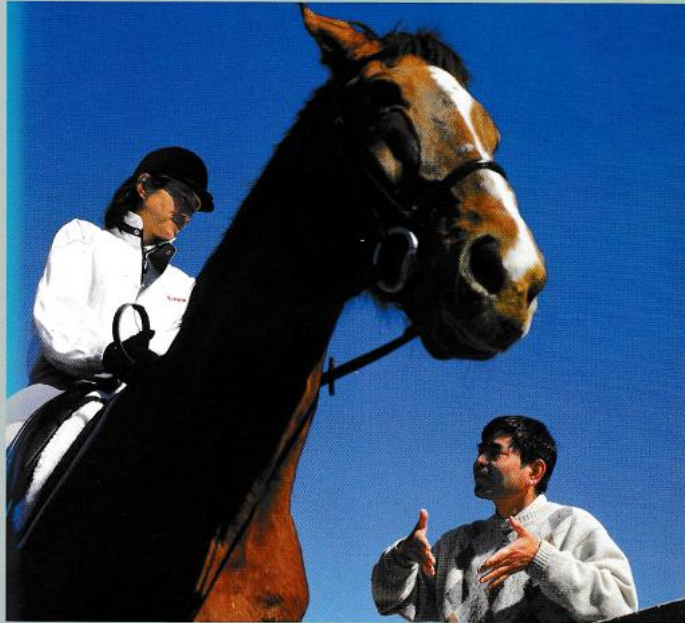
Research Journal on the Problems of Sign Interpretation

## 手話通訳 問題研究

2000 mar.

# 71

特集 手話通訳者に求められる理論と実践



発行・編集=全国手話通訳問題研究会

第71号 2000年4月

稲 豊 さん

### 目次

- 1 グラビア 大阪府・稲 豊
- 6 手話この魅力あることば 53 岡山県・伴 徹
- 特集「手話通訳者に求められる理論と実践」
- 14 1.日本の手話通訳運動の歴史  
(1)手話通訳前史  
全国手話通訳問題研究会 運営委員長 伊東 雋祐
- 20 (2)戦後ろう運動と手話通訳運動  
財団法人全日本ろうあ連盟 理事長 安藤 豊喜
- 26 (3)手話通訳制度の確立のために  
全国手話通訳問題研究会 副運営委員長 石川 芳郎
- 32 2.手話通訳の専門性  
(1)インタビュー  
法廷における手話通訳の現状と課題  
日本司法通訳人協会 会長 長尾ひろみ
- 44 (2)フィンランドにおける手話通訳者養成  
編集局次長 坂井田美代子
- 51 (3)座談会  
21世紀 通訳活動の課題と実践方向  
司会/同志社大学名誉教授 三塚 武男  
全国手話通訳問題研究会事務局長 近藤 幸一  
東京都手話通訳派遣協会職員 小屋松一子  
大谷女子大学助教授 山下 憲昭
- 64 3.手話通訳者の職務  
(1)地方自治体における手話通訳者の役割  
京都からの発信 全通研京都支部  
川手秀己・庄 克己・八木勝光・山形恵治・鎌田桂子
- 80 (2)ろうあ者福祉の拠点として  
大阪ろうあ会館の実践  
大阪ろうあ会館
- 86 4.現在の到達点と今後の展望  
松本 晶行
- 92 資料[1]ろうあ者の権利を守る通訳を「通訳論」
- 94 [2]日本における手話通訳の歴史と理念  
第8回世界ろう者会議提出論文
- 98 チャレンジ手話クロス
- 100 お詫びと訂正
- 101 ハガキで話そう 読者からのたより
- 109 編集後記



# 大阪支部



第105号 2008年10月  
花山 教子 さん

登録手話通訳者の現状と課題 .....	38
—実態調査報告書から見てきたもの— 山形 恵治 (全通研運営委員)	
• 登録手話通訳者とは .....	38
• 登録手話通訳者派遣事業のあゆみ .....	43
手話通訳派遣事業に思うこと .....	48
水田 俊子 (社団法人 兵庫県聴覚障害者協会理事)	
座談会・派遣コーディネート業務について .....	49
出席者/門倉 美樹子 (石川支部) 渡邊 たまえ (山梨支部) 松山 直子 (奈良支部)	
司 会/長山 綾 (研究誌部員・京都支部)	
• 登録通訳者の声 (その1) .....	53
仕事と家事の両立について 宮部 恵子 (全通研愛媛支部)	
• 登録通訳者の声 (その2) .....	54
登録手話通訳者にとっての登録手話通訳者派遣制度 遠矢 敦子 (全通研宮崎支部)	



# 大阪支部



第152号 2020年5月  
高田 昌代 さん

## 25 特集 支援力を高める

### 26 1. 総論

「全世代型社会保障」の働き方改革－支援力を取りまく情勢と課題－ 立命館大学特別任用教授 峰島 厚

### 29 2. 具体的な取り組み

取材ルポ 手話+笑顔+仲間=幸せ 全体の支援力を高めるために サービス付き高齢者向け住宅「ほほえみの郷」(札幌市) 施設の支援力を高めるための取り組み－全聴福研の取り組みから－ 大阪聴覚障害者福祉会相談役 佐藤 修  
一人一人を大切に とともに生きる ふくろうまなびあい文庫編集委員

39 3. 全通研会員の関わり 社会資源を創出し、更に盛り上げていくために 京都手話通訳問題研究会 乙訓班

41 4. 全通研としてのまとめ 私たちの基本的な日常活動は、支援力と密接に結びついている 全通研事務局長 伊藤 正



# 大阪支部

## 第13回 1980年 大阪 学習をつみあげて

地元大阪ではこの集会を、「集会のための集会」に終わらせるのではなく、手話通訳活動のワンステップと位置付けて、集会前後の1年間、毎週1回の学習会を（述べ20回）開催するなど、全国からの仲間を迎える取り組みをし、予想を上回る1,971名の参加で集会を成功させることができました。

集会は、藤野高明氏の記念講演に始まり、「英語通訳」から学ぶ講演の夕べと、2つの入門講座（8講義）、32の分科会、さらに、8つの課題別分散会と7つの階層別分散会を設定しました。この中で、「主婦の集い」などで事前アンケートを参加者に送るなどして、集会当日だけ

のものにならない工夫も試みました。この集会の様々な取り組みは、その4年後の夏・冬分離開催の布石ともなりました。

集会当日を含む数日間は、その3年前に誕生した大阪ろうあ会館和室に泊り込み、速報作業などで徹夜しましたが、それも、「今は昔」の話になりました。



全国集会  
エピソード



「50周年記念誌」 65ページ



# 大阪支部

第25回

1992年  
大阪

## “名もなく貧しく美しく”

第25回大阪集会の全体集会の会場・大阪国際交流センターの大ホールは、早くに確保す



全国集会  
エピソード



るため夜まで借りることになり、ただでさえ高い使用料を払って夜は使わないのはもったいない、ということで実行委員会で論議し、松山善三監督の映画「名もなく貧しく美しく」を上映することになりました。

集会一日目の夜、伊東雋祐全通研運営委員長の解説に続いていよいよ上映。水の溜った轍をバックに「名もなく貧しく美しく」の文字が浮かび上がりました。全国のなかまと一緒に観ることができたのは何よりうれしいことでした。

映画を観終えた若い人たちは、30年以上も昔にろうあ者を主人公としたこのような映画が作られたことに驚いたようです。集会後、全国からこの上映について問い合わせがありました。札幌では、この集会で作った字幕を利用して上映会が開かれたと聞きました。



# 大阪支部

## 大阪支部

### 大つ研

#### 大阪支部紹介

1975年12月、全国で2番目の支部となりました。会員数は一時900人に迫ったこともありましたが、ここ数年は600人前後です。府下を5つのブロックに分け(地域班)、地域の特色に合わせた活動や、協会・サ連と共同しながら活動しています。

部局は、機関紙発行の情宣部・学習会企画やグッズ作成を担う事業部・組織部・事務局があります。専任、登録、医療、健康、労働、手話研究、N-Aの各班活動も活発です。

機関紙のデジタル化や、コロナ期にはいち早くZoomを取り入れた学習会の企画など先取的な取り組みもしつつ、会員の継続率を上げるにはどうすればいいか常に考えています。新規会員をいかに迎え入れるか、次世代を担う人材育成、事務所運営などの課題がありますが、新しい発想、地道な取り組みで頑張っています。





# 大阪支部

## 全国の会員からのメッセージ

### 大阪支部

- ・「なんなん」建設時に研究誌の表紙に。全通研は私の手話の歴史そのもの
- ・いつよりか手話とかかわり続けつつ50年かああ50年（雫祐）私も同感
- ・これまでの出会いに感謝。これからもずっと一緒に

高田 昌代

稲 豊

花山 教子

「50周年記念誌」 190ページ

「ちょっと聞いてよ」 134号 2015年11月 その2

#### 【全通研に対する要望】

手話に関する研究にもう少し取り組んでほしいと思っています。それと手話通訳者の養成についてですが、養成に対して時間がかかりすぎています。せめて5年程度で養成できるようなシステムをつくるべきです。今、手話言語法の制定に向けた運動が本格化していますが、たとえ手話言語法ができて、担う人材がそだてられていないのではないかと非常に気がかりです。

#### 特集「手話言語条例とろう者のくらし」

鳥取県、明石市、石狩市  
小中副理事長インタビュー  
伊藤正事務局長





# 大阪支部

大阪支部 会員数一覧



2001年 858人



# 歴代会長

職名	代	氏名	在任期間	備考
運営委員長	初代	伊東 雋祐	1974年6月～2004年5月(30年)	2004年～2005年 名誉運営委員長
	2代	市川 恵美子	2004年5月～2010年5月(6年)	
2010年5月～2011年10月(1年半)			全通研法人化に伴い職名を会長に変更 在任中に逝去	
会長	3代	石川 芳郎	2011年11月～2016年5月(4年半)	
		渡辺 正夫		





# 「どんぐりの家」のデッサン

## 漫画家 山本 おさむ 氏

1954年 長崎県諫早市（いさはやし）生まれ

1979年 漫画家としてデビュー

「遥かなる甲子園」「わが指のオーケストラ」で評価  
「どんぐりの家」で第24回日本漫画家協会優秀賞  
第26回博報堂教育特別賞を受賞

1997年 映画「どんぐりの家」が第1回文化庁メディア  
芸術祭優秀賞（アニメーション部門）受賞

全通研会員 埼玉支部





# 「どんぐりの家」のデッサン



1988 (S63) 年10月28日

双葉社 全4巻

沖縄県に実在した、風疹のための北城ろう学校舞台に、公式の高校野球にあこがれる少年達が、幾多の困難を乗り越え硬式野球部を作り、甲子園を目指すというもの。



1991 (H3) 年10月28日

秋田書店 全10巻

大正から昭和、激動の時代に生涯をろう教育（手話）に捧げた男・高橋潔の感動の一代記!!

関東大震災 50円50銭

映画「ヒゲの校長」



1993 (H5) 年9月1日

小学館 全7巻

重複障害を抱えた子どもたちの懸命に生きてゆく姿を、彼らの親たちやろう学校の教師など、子どもたちを取り巻く人々の試行錯誤を通して描いた、事実に基づくヒューマン・ドラマ。



# 「どんぐりの家」のデッサン



1987 (S62) 年7月15日 発行



1990 (H2) 年5月25日 発行



2007 (H19) 年11月4日 発行



# 「どんぐりの家」のデッサン

- 「遙かなる甲子園」

「社会的障壁」とは、彼らの妨げる「野球憲章」という制度であり、彼らをとりにまく障害者差別である。 → **諦めない**

- 「わが指のオーケストラ」

大阪市立ろう学校が目指した「ろう児(者)が手話をする世界、手話が認められる世界」が、ろう者自身の運動によって、ろう教育のなかにはなく、社会に出現したのである。 → **運動によって社会を変える**

- 「どんぐりの家」

なぜ「差別」と闘うのか。なぜ「権利」を主張するのか、「人権」とはどういうことなのか。 → **基本的人権 一人も取り残さない**

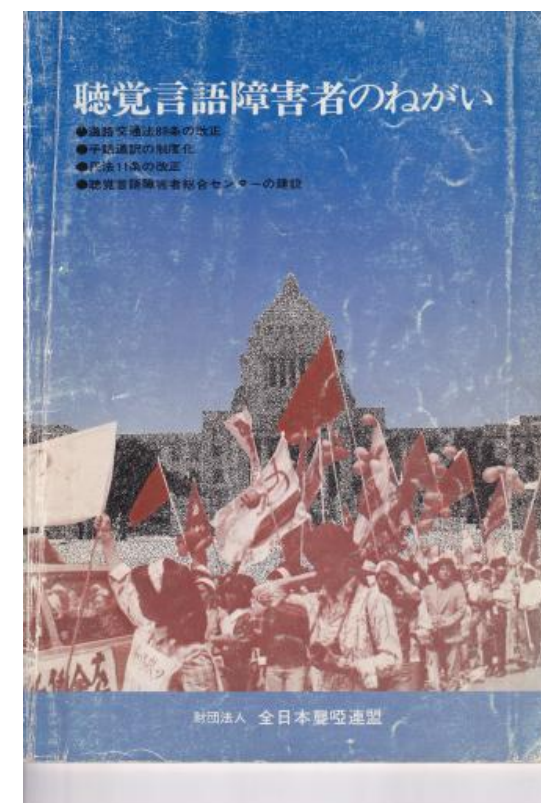


# ろうあ運動 4本柱



1977(昭和52)年2月1日 4本柱の大運動  
【1977(昭和52)年12月10日発行】

- ①自動車運転免許がとれば 道路交通法第88条第1項第2号の改正を「耳がきこえない者又は口がきけない者」与えない
- ②ゆたかな社会生活のために聞き、話す伝達保障を手話通訳の制度化と身分保障を
- ③法治国家で方の差別に泣いている前近代的な民法第11条の改正を
- ④ろうあ者の活動の拠点、憩いと文化教養、生活訓練の場聴覚言語障害者総合センター建設を





# ろうあ運動 4本柱

ろう運動を権利主体者として出発させた

1965(昭和40)年11月18日 京都府立聾学校  
高等部生徒会が学校行事の写生会(船岡山公園)を拒否  
学校に登校して生徒集会を開き、その立場を明らかにするビラを配布

この問題をろうあ者差別として取り上げた京都府ろうあ協会  
生徒会とともに一年余り闘いを繰り広げた  
これを総括した「3・3声明」を発表 1966(昭和41)年

1966(昭和41)年11月 京都  
第1回 全国ろうあ青年研究討論集会(全青研)  
分科会で差別事例を協議  
討論に集まったろう青年が全国各地の地元に帰り差別問題に取り組む



# ろうあ運動 4本柱



## ④聴覚障害者総合センター建設を

- ・1968(昭和43)年 ベル福社会館 建物半分使用差し止め
  - ①敷地の問題(売主の法人は自分の福祉事業拡張が目的)
  - ②福祉施設で国の補助金を受ける。(4階以上は分譲マンション)
  - ③建設費の使用不明金あり。(ずさんな経理)
  - ④授産事業として和裁を教えていた。(実質は百貨店の下請け)
- ・1970(昭和45)年 日本ベル福祉協会 解散
- ・1990(平成2)年 情報提供施設の法制化  
聴覚言語センター機能の創出
- ・2002(平成14)年 全国手話研修センター設立  
手話の拠点(嵯峨嵐山)
- 2003(平成15)年8月30日 全国手話研修センター開所
- ・2012(平成24)年 全国手話研修センター後援会の発足  
4,086人(2022年度会員数)
- ・2022(令和4)年 20周年記念式典 2023年3月19日





# 全国手話研修センター

## 1 手話通訳「者・士」現任研修／士試験対策

- ・手話通訳者現任研修
- ・手話通訳士試験対策
- ・手話通訳士現任研修

## 2 養成担当講師の連続講座・研修

- ・手話奉仕員養成担当講師連続講座
- ・手話通訳者養成担当講師連続講座
- ・講師ブロック研修会

## 3 職員研修

- ・聴覚障害福祉に関わる職員研修
- ・聾学校等教職員手話研修

## 4 テキスト開発・作成

## 5 手話の学習

- ・龍谷大学手話公開講座
- ・「let's手話!Forキッズ」
- ・若年層手話通訳者養成モデル事業

## 6 手話検定試験・統一試験

## 7 手話言語研究所

## 8 後援会

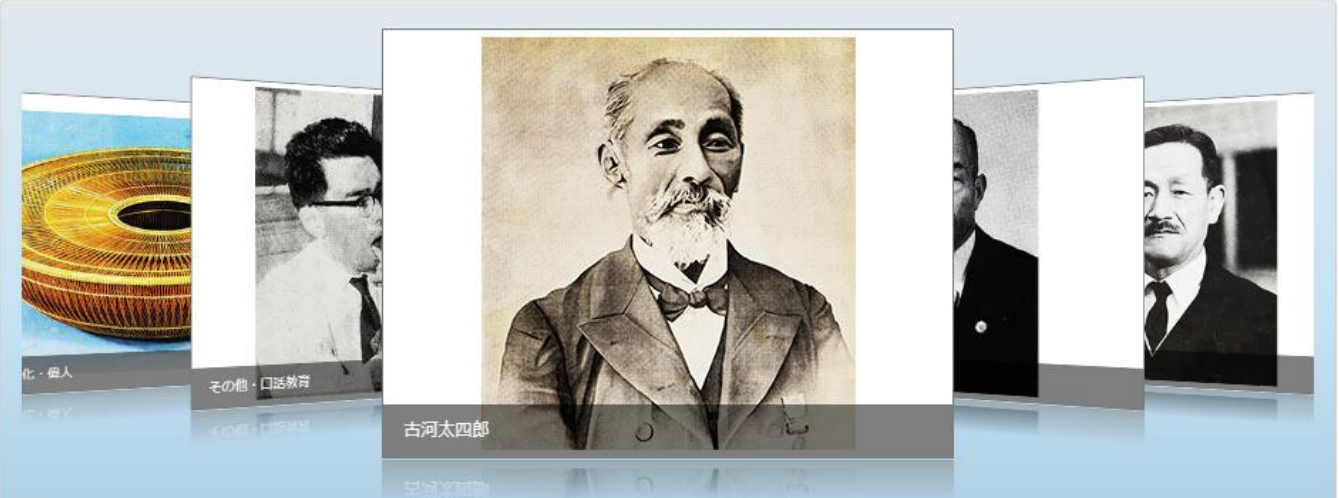




# 手話総合資料室

社会福祉法人 全国手話研修センター  
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4  
FAX: 075-873-2647 TEL: 075-873-2646

- ホーム
- 図書・雑誌
- 映像
- 現物資料**
- 資料室について
- お問い合わせ



わが国のろう教育やろう者の自立した社会活動は約150年の歴史があります。しかし、教育、手話、生活、運動等に関する文献が少ない収集・保存も十分でなかったため、その保管・閲覧の場の整備を求める声がろう者、手話関係者、センターは、全国の関係者の方々のご期待に応えるべく、わが国で初めて、国内のろう者や手話、ろう・保存を総合的に行うための「手話総合資料室」を設立しました。多くの方々のご協力によりいたがサイトで公開いたします。

手話の大切さを広めるとともに財政的に支援するなど全国手話研修センターを支えています

## 社会福祉法人全国手話研修センター 後援会

聴覚障害者や手話関係者たちの全国の取り組みの拠点としての全国手話研修センターをさらに発展させるため、2012年に後援会が設立されました。



役員名簿・会則

入会のご案内

後援会ニュース

お問い合わせ

2002（平成14）年に発足。手話を中心としたコミュニケーション環境整備のための研究・研修施設として全国的に事業展開を行っています。全国の手話の拠点として存在しています。後援会に入会を!!



# 全通研とは

- 1 名称: 一般社団法人 **全国手話通訳問題研究会** (全通研=ぜんつうけん)  
全国の仲間と手話のこと、手話通訳のこと、聴覚障害者のことを考える  
※全国手話通訳者協会、全国手話研究会、全国ろうあ者問題研究会
- 2 現住所: 京都府京都市今出川 (京都御所の近くに事務所がある)
- 3 生まれ: 1974 (昭和49) 年6月3日 (2010年に一般社団法人資格取得)  
2024 (令和 6) 年に満50歳
- 4 目的: 聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上をめざす
- 5 活動: 研究・運動団体  
研究=疑問を持ち、課題を見つけ、多角的に検証する  
運動=市民が民主主義を基礎に、権利意識を自覚し、  
あらゆる困難を克服して目標を達成する



# 全通研とは

1 手話やろうあ者問題に関わる全ての人々を呼びかけの対象にした。

## 2 基本理念は

(1) ろうあ者の暮らしから学ぶ

(2) ろうあ者集団と共に歩む

(3) ろうあ者の権利を守る手話通訳活動 → 共同の権利主張者

• ものさし → 私たちと同等の権利が保障されているか？

聴覚障害者



国民

手話通訳者

全通研創立20周年記念  
1994（平成6）年  
福井県丸岡町 村中定夫氏



# 全通研とは

## ①全通研

### ・定款 第5条

「本会は、手話及び手話通訳、ならびに聴覚障害者問題についての学習・研究活動を行い、**手話にかかわる人々の組織化を図るとともに**、一般財団法人全日本ろうあ連盟の運動をはじめとする聴覚障害者運動と連帯し、もって**聴覚障害者と手話通訳者の社会的地位の向上をめざす**ことを目的とする」

## ②手話学習会「みみずく」 1963年 京都 日本で最初の手話サークル

「手話を学んでろう者のよき友となり、共に手をつないで**差別や偏見のない社会を実現**するために努力する。そのために必要な学習や事業を行うこと。

## ③大阪支部や自分の所属する手話サークルの目的は



# 全通研とは

## 1 全都道府県に支部がある

## 2 活動の中心は

(1) 手話サークル

(2) 地域班

(3) 支部 ちば通研(千葉県手話通訳問題研究会)

(4) 関東 関東手話通訳問題研究会

(5) 全国 全国手話通訳問題研究会  
(全通研=ぜんつうけん)

## 3 手話サークルとの違いは

(1) 全日本ろうあ連盟と協働活動を行っている

(2) 全国の仲間との交流・情報交換

(3) ろうあ者の暮らしから考え、より良い生活を求めて運動を進める

根っこは同じ。手話を学んだきこえる人たちが、聴覚障害者を支えながら初めに立ち上げたのが、手話サークルです。

手話サークルは地元のろう団体と協力し、手話に関する事、聴覚障害者に関する事、行政との交渉など、さまざまな活動をそれぞれの地域で担ってきました。しかし、活動が広がるにつれ、地域だけでは取り組めない問題、一つの手話サークル、一人だけでは解決できない問題があります。

そのため、全国の手話に関わる人たちが、問題を解決するための全国組織を立ち上げました。



# 全通研とは

会員になれば (手話・聴覚障害者問題に関心があればどなたでも入会できます)

## 1 全国

- (1) 夏集会 (参加費会員扱い)
- (2) 研究誌 (年4回発行)・会報
- (3) Web学習会 (会員無料)

## 2 関東

- (1) 関東集会 (参加費会員扱い)
- (2) 学習会 (支部相互乗り入れあり)

## 3 千葉

- (1) 「ちば通研だより」毎月1回発行
- (2) 集会・講座 I・II・地区講座・講師派遣学習会 (参加費無料)
- (3) 専門班学習会



## ちば通研だより No.517

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫  
 住所: 〒280-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内  
 FAX: 043-247-1201 E-Mail: syuwa@nifty.com URL: <http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

### 2026年度 ちば通研講座 I

～手話通訳者の役割と今後の展望を語る～

いよいよ 2026 年度のスタートです！  
 毎年、ちば通研の定期総会後に講師を招聘してちば通研講座を開催しております。  
 今年は、皆さまから要望の多かった江原氏をお招きして下記のとおり開催します。  
 詳しくは、講座のチラシを参照してください。きっとヒントがもらえると思います。  
 2026 年度の会費を早めにお振込みいただき、お申し込みください。  
 一般の方も誘いの上、是非一緒にご参加ください。お待ちしております。

#### <ちば通研講座 I >

日 時: 2026 年 4 月 19 日 (日) 13:30~15:30  
 会 場: 千葉聴覚障害者センター3階多目的ホール (予定) + オンライン  
 テーマ: 「手話通訳者としての役割と今後の展望」  
 講 師: 江原 こう平 氏 (全通研事務局付事務局長)  
 参加費: 2026 年度会員・きこえない人は無料、一般は 2,000 円 (口座振込で)  
 その他: 会場+ハイブリッドで開催します。

※当日会費を払ってくださった方も会員扱いとします。この機会に是非会員になりましょう！

3月24日時点でのちば通研の会員数は 335 人  
 (読者会員会員数は 12 人)  
 2026 年度の目標数は 350 人です  
 数は力！みんなで会員を増やしましょう～

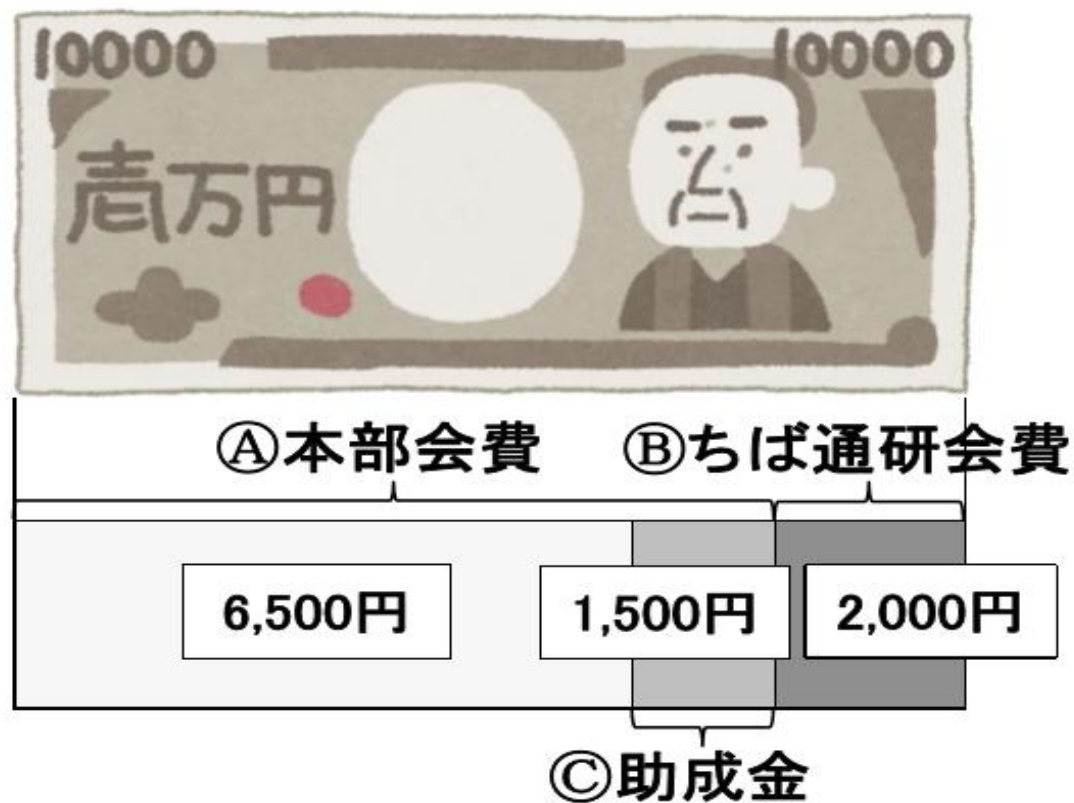


しゅわりん



# 全通研とは

## ちば通研の会費



### 1万円会費

本部から1,500円 支部会費として2,000円  
実質 3,500円+書籍売上などで運営

### 支出

- 関東通研 1人100円
- 地域班助成 1人300円
- 会議費 (会場・旅費・通信)
- ちば通研だより印刷・郵送
- 事業費 (各行事)
- 消耗品 (紙・袋)
- 事務所経費
- 通信費 などなど



# これからの全通研

## ・長期ビジョンの作成

これまでは10年間（2005年～2014年 2015年～2024年）  
社会情勢がめまぐるしい。10年間だと見通しがたたない  
全通研ビジョン2030年 今後6年間の中期計画

## ・スローガン

きわめる、たかめる、はたらきかける  
つながる、たかめる、はたらきかける ⇒ きわめる

## ・課題

- 1 高齢化や会員減
- 2 事業の見直し（講座と分科会、本部と支部の関係）
- 3 担い手の育成



# 全通研とは

- 「雇用されている手話通訳者の労働と健康についての実態調査」
- 2025 (R 7) 年は、第8回目の調査を実施。
- 厚生労働省  
令和7年度障害者総合福祉推進事業
- 2025(R 7)年の調査から
  - (1)対象者 2053人 回答者 1427人 回答率 69.5%
  - (2)平均年齢 57.2歳 2020年 54.4歳 1990年 37歳
  - (3)近年の手話に関わる法整備等に伴う業務の増加が手話通訳者の健康に影響を与えている。身体的負担に加え、相談支援や緊急対応に伴う心理的負担も指摘。
  - (4)若年層が育ちにくい養成のしくみ、自治体ごとの差が大きい業務内容や人員配置、社会的評価や処遇の問題は、長年にわたり改善されていない。
  - (5)手話通訳者が健康に働ける環境について検討する。

頸肩腕障害の患者がなくなる 働く職場の環境整備  
今後、実施される調査に協力を



# これからの全通研

## 手話通訳制度調査研究委員会

目的 日本の手話通訳制度について調査・研究する。



これまで理事会にて「手話通訳制度」についての議論が不足していた。手話通訳制度の現状を把握し、課題を整理してその解決に向けて具体的な方策を打ち出すことが必要。



2024年度実施していた事業は一旦休止して、上記の課題に集中していく。



「雇用された手話通訳者の労働と健康についての実態調査」の調査のまとめやこの研究委員会の検討内容を踏まえる。



次年度の事業に反映させて実践する。

### 【趣旨】

日本の手話通訳制度の進展が見られていない現状を踏まえ、聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上を目的とする本会として、手話通訳制度の抜本的改善を目指す観点から、学識経験者の専門的知見を取り入れることにより同制度の現状と課題について調査研究機能の強化を図り、理事会のもとに、手話通訳制度調査研究委員会を設置する。



# これからの全通研

## 手話通訳制度調査研究委員会

第1回会議 2026 (R8) 年3月29日に開催

### メンバー (五十音順)

- 飯田 奈美子 (立命館大学専門研究員)  
江原 こう平 (国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科教官)  
門倉 美樹子 (白山市役所職員)  
木下 武徳 (立教大学教授)  
米野 規子 (一般社団法人全国手話通訳問題研究会事務局長)  
近藤 幸一 (一般社団法人全国手話通訳問題研究会副会長)  
志藤 修史 (大谷大学教授)  
埜田 和史 (びわこリハビリテーション専門職大学客員教授)  
間船 博 (一般社団法人全国手話通訳問題研究会研究活動推進部次長)  
宮澤 典子 (一般社団法人全国手話通訳問題研究会副会長)

### 事務局

伊藤正、伊藤利明、小野尾一秀、森川美恵子、宥免千英子



# ともにがんばろう!!

## 第59回全国手話通訳問題研究集会

～サマーフォーラム in しずおか～

### 「継承と改革 静岡から未来へ」



2025年8月発行

日程：2026年8月28日(金)～30日(日)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ



実行委員長：鈴木 誠一

2026年8月28日(金)～30日(日)、第59回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in しずおか～を静岡県静岡市のグランシップで開催いたします。

静岡県は山も海もあり、雄大な富士山を望むことができる、気候も温暖でとても魅力的な場所です。会場となる静岡市には、徳川家康が住んでいた駿府城跡と日本一深い駿河湾を一望できる久能山東照宮があります。さらに、皆さんご存じの「ちびまる子ちゃん」の舞台としても有名です。また、お茶、みかん、わさび、桜えび、地酒も楽しんでいただけます。

今回のテーマは「継承と改革 静岡から未来へ」です。手話活動において、先達が築き上げた成果の継承と共に、時代に合わせた改革を進めよりよい社会づくりを進めるための大会にしていきましょう。

私たち実行委員会一同、静岡の地で全国の仲間と共に学び合い、語り合い、つながりを深める3日間をつくり上げてまいります。

皆さんとお会できる日を心より楽しみにしています。ぜひ静岡へお越しください!

「おいてよ、しずおかで待っとるに!」

第59回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinしずおか～ 実行委員会事務局

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1番70号

静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)5階 静岡県聴覚障害者協会

TEL：054-254-6303 FAX：054-254-6294 E-mail：59summer.sz@gmail.com

集会ホームページ

<https://sites.google.com/view/59sf-shizuoka/>



## 第59回全国手話通訳問題研究集会

～サマーフォーラム in しずおか～

### 「継承と改革 静岡から未来へ」



速報 第2号

2026年3月発行

日程：2026年8月28日(金)～30日(日)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

### 記念講演決定

## 樹木の心と語り合う



講師：塚本こなみ氏

1949年静岡県磐田市生まれ。会社勤めを経て、造園業の夫との結婚を機に樹木・緑化の世界へ。現在、公益財団法人浜松市花みどり振興財団はままつラパーク理事長に就く。

1992年には女性で初の樹木医となる。93年に造園・緑化・樹木等の治療・移植を事業とするコンサルタント会社を設立。「緑を増やす」造園から「樹木を守り育てる」緑化へと歩み出す。

栃木県の「あしかがフラワーパーク」での、巨大な藤の移植は、樹木医になって1年ほどの時の事。初めての経験であったが、2年がかりで成功。そこには常識にとらわれず、前例に縛られず、諦めない自由な発想があった。同時に大切にしてきたことは、藤の声を聴き、藤の立場で考える姿勢。

相手をよく見て、考えることの大切さを学び、全日本ろうあ連盟、全国手話通訳問題研究会の活動目的を改めて見直す機会へつなげてほしい。



# ひとりのちいさな手 本田路津子

ひとりのちいさな手  
何もできないけど  
それでもみんなの手と手をあわせれば  
何かできる何かできる

ひとりのちいさな目  
何も見えないけど  
それでもみんなの瞳で見つめれば  
何か見える何か見える

ひとりのちいさな声  
何も言えないけど  
それでもみんなの声が集まれば  
何か言える何か言える

ひとりで歩く道  
遠くてつらいけど  
それでもみんなの足踏み響かせば  
楽しくなる長い道も

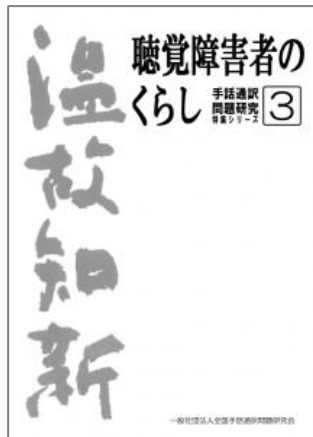
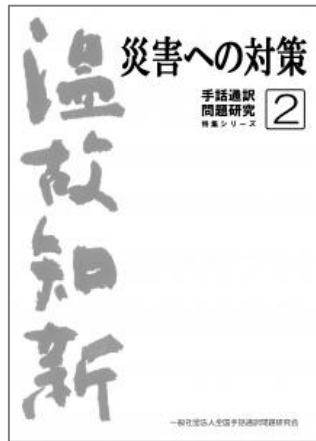
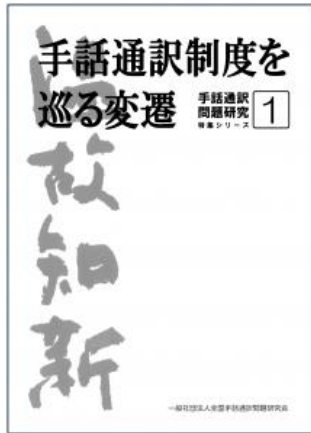
ひとりの人間は  
とても弱いけど  
それでもみんながみんなが集まれば  
強くなれる強くなれる  
それでもみんながみんなが集まれば  
強くなれる強くなれる

[本田路津子 一人の手 歌詞&動画視聴 - 歌ネット](#)





# いっしょに前に進もう



税込1,100円